

令和4年司法試験 合格体験記

2021年度修了（既修コース）大川 亜希

16期既修の大川亜希と申します。岡山大学法学部を卒業後、岡山大学大学院法務研究科に進学しました。

私は既修で入学しましたが、必要な単位を落としてしまったため、半年卒業が延びてまわっていました。卒業後、1回目で合格することができました。

単位を落としてしまったのは、勉強不足（それと、きちんと過去問をチェックしていなかったことです。ローの試験でも、司法試験でも過去問は大事です…）だったので、もしそのまま卒業していれば、その年には合格できなかったと思います。気合を入れてくれた先生方にはとても感謝しています。

岡山大学大学院法務研究科は、先生方の指導が手厚く、授業で学んだことがたくさんありました。また、エクスターン、模擬裁判といった実習や、少年法、リーガルソーシャルワーク演習等の授業が充実しています。これらの授業の受講は、司法試験に直接関係なくとも、司法試験合格後を常に意識し、勉強へのモチベーションを保つことに繋がりました。長期間にわたる勉強の中で、気持ちを安定させ、「頑張ろう」という気持ちを保つのは、とても重要なことでした。

私は、毎日の勉強に「やる気」を出すのが難しかったです。そこで、先述のモチベーションを保つほかに、勉強を始めるにあたり、必ず決まった音楽（リラックスや集中がしやすい環境音楽等）を流す習慣をつけていました。1年以上続けていると、その音楽を聞くと勉強がしたくなるようになりました。試験本番前にも聞くと、とてもリラックスできましたので、個人差があると思いますが、おすすめです。

これから司法試験合格を目指す方は、様々な勉強方法がある中で、自分にあう方法を見つけ、頑張っていくてください。応援しています。

最後になりますが、これまで授業や実習等で指導して下さった先生方、資料室、教務の職員の皆様、本当にありがとうございました。この場を借りて、深く御礼申し上げます。

これからの修習でも、勉強を怠ることなく、より一層精進いたします。